

この度、わが社は新 JIS マーク表示認証を受けました。

JQ0508143

表記の JIS マークをご覧ください。2005 年 10 月施行の工業標準化法改正で、従来の『JIS マーク表示認定工場』から『日本工業規格 JIS-S-7001 つり針』に基づく、『適合性評価に供し得る製品規格として整備されたすべての JIS が、JIS マーク表示制度の対象規格として選択可能になった』ことです。

次に、国により登録を受けた第三者機関がおこなう認証制度をとりました。国際的な基準に基づくスキームのもと、民間の登録認証機関による一貫した認証の責任体制を確立したということです。

更には JIS マークのデザインが大きく変更となったということです。

これからは[CS すなわち顧客満足]を徹底追及して参る所存です。これこそが現在わが社に課せられた宿題であろうと考えます。

思えば釣針の業界では、昭和 32 年 12 月にわれ先と JIS マーク表示認定工場を目指して頑張りました。だが年を経るごとに認定を辞退し、最近では 2 社となってしまいました。わが社ではたとえ一社になっても『日本工業規格 JIS-S-7001 つり針』を死守すべく力を注いでまいりました。新 JIS マーク表示認証制度に移行した後も、従来通りつり針の標準化と品質向上への努力を結集して行く事は当然のことです。

経営革新と技術革新は明日を目指す企業にとっては、不可避でかつ永遠のテーマです。

『播州針ここに在り、新たな目標ここに見えたり』

株式会社土肥富  
代表取締役 土肥芳郎  
平成 20 年 10 月吉日